

栃木県糖尿病療養士認定機構 ～はじめの1年を振り返って～



栃木県糖尿病療養指導士の方向性

- 職種が限定されことなく、全ての医療従事者が糖尿病チーム医療の一員となる
- 療養指導報告会などにより、糖尿病療養指導士がチーム医療を行い、地域と連携し貢献してゆく
- CDEJとCDELが認知・評価される仕組み作りが必要である

栃木県の糖尿病療養指導士の課題

- CDEJ取得や更新には費用と時間がかかる（東京で講習会が行われるため交通費も）
- 職種が限定されている
- 試験が高水準
- 認定更新の講習会が少ない など



栃木県糖尿病療養士認定機構 CDE-Tochigi

栃木県糖尿病療養士認定機構は、栃木県における糖尿病教育の正しい知識と技術の普及・啓発を図り、医師の指示下で熟練した療養指導を行うことのできるスタッフを栃木県糖尿病療養指導士として養成・認定することを目的としています。

栃木県糖尿病療養指導士認定機構（CDE-Tochigi）は次の事業を行います。

- (1) 栃木県糖尿病療養指導士の育成および研修
- (2) 栃木県糖尿病療養指導士の認定および更新
- (3) 栃木県糖尿病療養指導士の発展・認知向上
- (4) 栃木県糖尿病療養指導士による療養指導士同士の交流会や報告会など

栃木県糖尿病療養指導士認定機構

栃木県糖尿病協会

栃木県糖尿病療養指導士認定委員会
(最高決議機関)

栃木県糖尿病療養指導士数
(二次保健医療圏別)

委員長

副委員長

認定 試験 講習 広報

事務局



認定対象者

看護師・保健師・准看護師・薬剤師・管理栄養士・栄養士・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・介護福祉士・健康運動指導士・臨床工学士・視能訓練士・事務員・メディカルクラーク・臨床心理士等、糖尿病医療、糖尿病啓発にかかわる従事者

1. 栃木県内の医療機関及び職場に従事している者で、施設長の推薦書を必要とする。
2. 日本糖尿病協会の会員であること

基礎（認定）講習会
◆受講料3,000円

CDEJ 有資格者

申請書類

申請書類

認定審査
試験
(試験問題・回答用紙を郵送)
◆試験・認定申請料 3,000円

認定 (5年間)

療養指導報告会 (更新講習会)

更新 (更新条件)

1. 5年間で30単位の単位修得
2. 認定機構が開催する療養指導報告会 (更新講習会) は、5年間のうち1回以上参加すること

事業

日時	事業	参加者
平成29年5月	第1回 CDE-Tochigi 認定者 認定	272名 (うち CDEJ有資格者20名)
平成29年11月	★第1回 栃木県糖尿病療養指導士認定機構 (CDE-Tochigi) 更新講習会	183名
平成30年3月	★第2回 栃木県糖尿病療養指導士認定機構 (CDE-Tochigi) 基礎 (認定) 講習会	190名
平成30年4月	第2回 CDE-Tochigi認定試験	受験申込者数 142名 127名
平成30年6月	第2回 CDE-Tochigi 認定者 認定	(うち CDEJ有資格者5名)

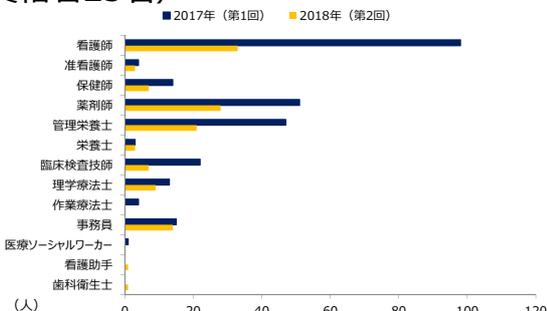
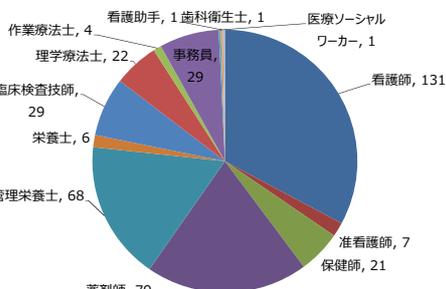
★第1回 CDE-Tochigi更新講習会

【特別講演】
「質の高い糖尿病療養指導の均てん化に向けて」
演者 公益社団法人 日本糖尿病協会 清野 裕 理事長

「CDE-Tochigiの活躍 糖尿病療養指導の事例紹介」
看護師・薬剤師・保健師・臨床検査技師・メディカルクラーク・作業療法士によるパネルディスカッション

- 栃木市糖尿病予防教室について
- メディカルクラークとして出来る事
- 糖尿病患者への眼科看護師としての関わり
- 糖所見改善プログラムについて など

認定者 399名 (うちCDEJ有資格者25名)



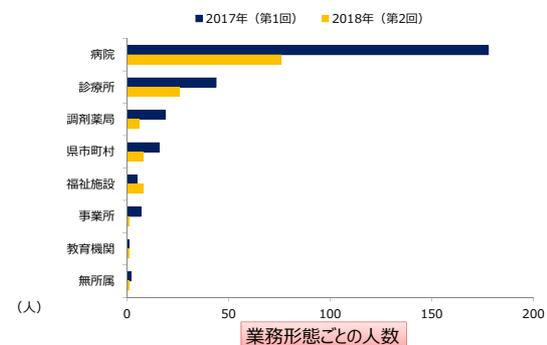
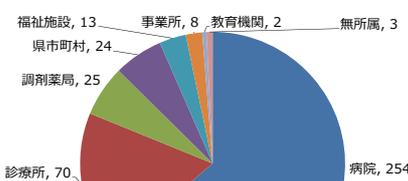
★第2回 CDE-Tochigi基礎講習会

CDE-Tochigi認定試験の受験資格に必須の講習会

本会場から、栃木県内3会場にWEBシステムを利用して同時配信をおこなった。

CDE-Tochigi資格更新の為の講習会

- ① 栃木県糖尿病療養指導士認定機構が主催する研修会 (6単位) 2回
- ② 本機構に関係する団体による講演会等 (1単位) 39回
- ③ 日本糖尿病療養指導士の単位が取得できる上記以外の講習会 (2単位) 2回



<http://square.umin.ac.jp/cde-tochigi/index.html>



事務局

〒322-8550
上都賀総合病院 糖尿病センター内
栃木県鹿沼市下田町1-1033

TEL 0289-64-2161
E-mail. CDEOffice@umin.ac.jp

委員長のメッセージ

栃木県糖尿病協会 支部長
栃木県糖尿病療養指導士認定機構 委員長
獨協医科大学 内分泌代謝内科 教授
麻生 好正



ハッピーな糖尿病ライフを送ってもらうために。

ご存知のように、我が国で糖尿病患者が急増しています。栃木県でもその傾向は顕著ですが、原因として県民の肥満者の割合が全国で上位にあるためです。糖尿病治療の放置、遅れ、中断は、人工透析、失明、足切断、心筋梗塞、脳梗塞など重篤な合併症を引き起こし、生活の質を落とし、寿命の短縮に至ります。

糖尿病は医療のサポートを受けて、自分自身で治療する、すなわち療養（自己管理）する病気です。患者さんの教育が極めて重要になります。医師だけの指導では限界があり、各専門職種が綿密な連携を保ち、専門性を生かしたチームアプローチが必要となります。その役割を果たすのが、糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator; CDE）です。2000年に医師の指示の下で療養指導を行うことのできるメディカルスタッフに与えられる資格として、CDE-J（Japan）が発足しました。高度で幅広い専門知識を活かし、患者さんの糖尿病の自己管理の支援で大変貢献しています。しかし、CDE-Jは職種が限定され、試験が高水準で、取得や更新には費用と時間がかかる、などの問題もありました。特に、栃木県のCDE-Jの数は他の都道府県に比し、大変、少ない現状にあります。

日糖協では糖尿病療養指導の均てん化のため、全国にCDE-L（ローカル糖尿病療養士）を設立・支援を行っています。そこで、栃木県でも栃木県糖尿病療養士認定機構、CDE-Tochigiを発足しました。資格が得られる対象を看護師・保健師・准看護師・薬剤師・管理栄養士・栄養士・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・介護福祉士・健康運動指導士・臨床工学士・視能訓練士等の医療職種のほか、臨床心理士・メディカルクラーク（事務員）など、直接患者にかかわる者、など間口を広げました。また、取得条件、試験、更新も簡素化しています。

みなさま、栃木県の糖尿病患者さんの人生を豊かに、幸せにするために、CDE-Tochigiになってみませんか。我々の仲間になって、一緒に栃木県の糖尿病療養指導の質の向上を目指してみませんか。「栃木県の奇跡」と言われるぐらい、糖尿病治療を変えてみましょう！